

稲田の子

開校88周年を迎えます。長きの歴史に思いを寄せて

校長 棚澤 実

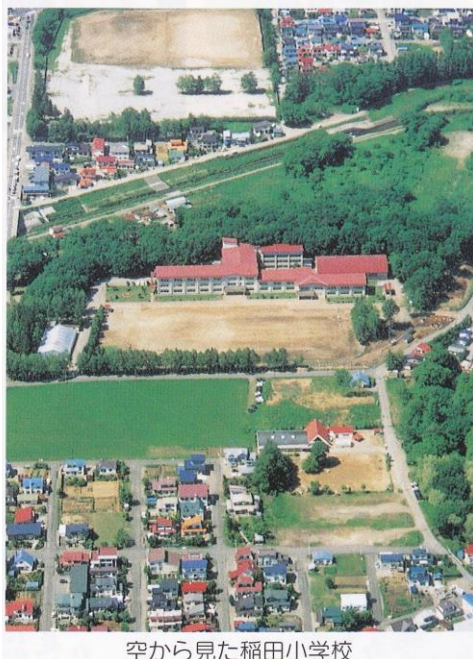
昭和3年12月23日、校名川西村立稲田小学校として、2学級編成男子60名女子59名計119名で開校、昭和32年に帯広市と川西村、大正村が合併したため、帯広市立稲田小学校と改称され、現在に至っています。

開校当初は、通学路は整備されておらず、徒歩か自転車で通学する子どもたちの平均通学距離は6~10^キほどといわれています。校舎は職員室と教室2つだけで吹雪の日はとても寒く、雪が窓から入り込んでくるなどの厳しい環境ではありました。学校の近くには農家が1軒だけ、雑木林の中にはわき水が湧き、小魚やザリガニはたくさんいたそうです。



稲田の地名は、明治29年頃（今から120年前）岐阜県から入植した中村さんが「岐阜にあるたんぼよりもっとよい田、もっとよい米を作りたいもの」と考えたのが命名のきっかけとされています。そして田を作り始めた頃か完成した頃に、地域の方々の話し合いで「稲田」という地名ができあがったものといわれています。

改めて開校88年の歴史と伝統を重んじながら、592名の子どもたち、保護者、地域の皆さんとともに、稲田の歴史をつくっていきたいところです。



空から見た稲田小学校



稲田校開校当時の校舎の面影

写真右・稲田小のはじまりはここから。児童数増に伴い、増築に増築が進められた後、現在の校舎は、昭和五十八年建設されたものです。築三十二年目を迎えています。
写真左・開校七十周年ころの航空写真から。学校前にはまだ畑が広がっていました。

帯広環境にもっと活躍の場を

これまでも本校は、環境を考えた取組として、毎日の牛乳パックの回収から、リングプル回収や公園のゴミ拾い、全校落ち葉拾いなど美化活動に取り組むなど、活発な取組が伝統的に進められてきました。

今年はそれらの活動の整理をしながら「環境にやさしい活動実践校」としての取組を進めてきました。

過日、帯広市の環境都市推進課の来校による学校の取組の審査会が行われました。児童会三役や、ボランティア委員会、環境委員会の子どもたちが、市の担当の方からの取組に対する質問にはきはきと答える様子は堂々としたもの。終始和やかな雰囲気の中、本校の取組のアピールをすることが出来ました。

明日（22日）の終業式の後、引き続き全校児童が見守る中、認定授与式が行われます。



12月26日（月）
1月11日（水）

は「稲田の子学ぼう会遊ぼう会」です。申し込みはお済みですか。一緒に楽しく勉強して体を動かしましょう。これからの申し込みは学校への電話でOKです。欠席する場合も忘れずにお電話を！



いなっ子の風景

その1 インカードリッジ贈呈式

南町中学校で集めた「インカードリッジ」を生徒会長の我妻さん、環境常任委員長の角さんの2人（いずれも本校卒業の現中学2年生）が学校へ届けにきてくれました。学校を代表して、対応は児童会長の橋井くん、副会長近野くんの両名で行いました。たくさんのお寄せありがとうございます。

(写真右)



その2 『ぐりとぐら』からの クリスマスプレゼント

今年も毎月の読み聞かせの他、学校図書の新着や装飾等、活発な活動をしてくださった図書ボランティアのみなさん（読み聞かせの会『ぐりとぐら』）この時期恒例の読み聞かせの後のクリスマスプレゼントとして「手作りしおり」を一人ずついただきました。うれしいプレゼントです。この後、みなさんには学校図書の蔵書点検にも力を貸して頂く予定になっています。引き続き、そして3学期もどうぞよろしくお願い致します。



その3 高校生がじゃがいもの先生に 3年社会科出前授業

昨日（20日）帯広農業高校の2年生による、ジャガイモの生産についての出前授業が行われました。大変分かりやすいプレゼンと説明は大好評。大人も聞いていて勉強になるほどのものでした。学習の最後には農高生がつくった「粉ふきいも」の提供もあり。頭にもお腹にもおいしい授業でした。この様子は年明けに帯広ケーブルテレビ（OCTV）の番組『学校だいすき』でも放映される予定です。

(放映予定 1月10～15日 11:30, 17:30, 19:25, 23:30)



お気軽にご相談下さい

本日、南町中エリアファミリー「教育講演会」の案内を配付致しました。テーマは特別支援教育です。

社会への様々な適応を踏まえ、子どものもつ『学びづらさ』であるとか『生活のしづらさ』『生きづらさ』に対し、その子に応じた適切な指導や必要な支援をすることで自立を目指すことが特別支援教育です。いかに進めていくかは、本校のみならず全国的な課題にもなっています。

お子さんの成長や発達等、気になることや相談したいことがありましたら、担任をはじめ校内特別支援担当（特別支援コーディネーター 佐々木穂江教諭・荻田千春教諭）、また、教育相談員として、三日市とし子氏が週1回のペースで来校しているなど、相談窓口はたくさんあります。（相談室は1回保健室隣りです）

ぜひお話を聞かせて頂く中で、お子さんのより良い成長に向けた指導や支援をともに考えていきませんか。



学校アンケートまだ間に合います。あわせて体罰アンケートのご協力もお願いします。

20日（火）が提出期限でした学校改善のためのアンケート（封筒入りのもの）は、まだ提出が間に合います。お忘れのご家庭はございませんか。また、本日お子さんを通じて、北海道教育委員会による全道の小中高等学校一斉の「体罰に関する調査」も同じく封筒入りで配付致しました。こちらは年明け1月19日（木）が提出必切りとなっております、あわせてのご協力をお願いします。